



NPO PTPL “ともいき” 便り No6

■ 夏至号 (2012年6月21日発行)

- 6月21日(木)は夏至。6月21日(木)から7月6日(金)の16日間は夏至の節気です。天文学的には、太陽が黄経90度の点を通る時をいいます。旧暦では夏至は夏の間点、梅雨の真っ盛りです。
- 5月の「すがすがしさ」に対して、6月は「うっとうしい」というのが日本の気候の常識。6月の「うっとうしさ」は梅雨空の暗さからきているのでしょう。しかし「うっとうしい」、「むしむし、じめじめ」は嫌われますが、この国の自然や生活文化に欠かせない一月あまりです。(ともいき暦の雑節では入梅は6月10日(日)です。これはあくまでも梅雨入りの目安です。)
- 日本列島は現在梅雨本番、6月には珍しく台風4号が和歌山県南部に6月19日(火)の夕方上陸、雨、風ともに強い台風で、近畿、東海、首都圏を暴風域に巻き込みながら北東へ進みました。台風といえば雑節の二百十日、二百二十日を思い出しますが、6月の台風は8年ぶりということです。(ともいき暦の雑節の入梅、二百十日、二百二十日をご参照ください。)

◎ 気になった植物

● 石榴(ザクロ)の花

春の新芽、そして初夏の青葉、艶のある青葉に咲く、燃えるようなこまでも鮮やかな朱赤色の六弁の石榴(ザクロ)の花。そして秋の結実、冬の枯木立と四季を通じて私の目を楽しませてくれる私の家の近くの友人の庭の石榴です。初夏の青葉の中に咲く、一輪の朱赤色の花を見て中国人は、紅一点と言いました。

5月中旬ごろに咲く一輪の石榴の花、この瞬間を私は毎年楽しみにしています。そして、夏至の頃になると艶のある青葉にいっぱい朱赤色の花を咲かせます。夏も過ぎ、秋になると結実した石榴の実を友人から少しだけお福分けしていた

だけののも楽しみの一つです。

一本の木の季節の変化を、一年を通してじっと眺めるのも“良いもの”です。

◎ “ともいき暦”の年中行事より

●大祓え（おおはらえ）

6月30日（土）は大祓え（夏越の祓え）です。6月30日は前半年の最終日あたり、12月の晦日（みそか）（年越しの祓え）とともに来るべき新たな時期に入る日です。

人々の犯した罪や穢れを除き去るために全国の神社で行われる神事です。旧暦でも6月30日と12月31日に行われていましたが新暦でも同様に6月30日と12月31日に行われています。

私たちの先祖が育み、培ってきた、生活文化や伝統は年中行事として残っていますが……

一年に2回、6月と12月に「大祓え」を行い、自分の犯した罪や穢れを除き去り、新たな次の半年に向かって再出発するという生活文化、習慣は残しておきたい日本人の価値観であり、生活観のひとつだと強く感じています。

（ともいき暦の表紙の6月30日をクリックして「大祓え」をご参照ください。

勝田祥三（NPO PLANT ATREE PLANT LOVE 理事長）

■事務局便り

- ◎ タピラスのうた「悪い夢食べちゃうぞ」を聞いて、歌に合わせた体操を、振付師の北村智晃さんが作ってくれました。

<http://www.youtube.com/watch?v=9RdZpfm83ac> をご覧ください。

北村さんからのコメントです。

皆さんに踊っていただければと思い振付けてみました。

3.11 の東日本大震災以降、沢山の方々が被災され今もまだ復興に時間のかかる日本。

色々な方々が支援を行うようになり、自分でもなにか出来ないか？僕の出来る事で支援をしたい！

そう思い調べていたところこのサイトで「タピラスの歌」というものを拝見しました。

夢を食べると言われている中国の「バク」をもとに作られたキャラクター「タピラス」。タピラスは悪い夢を食べいい夢を見よう！この言葉に共感を受けた僕は、今まさに夢を追えるような現状ではない被災地の子供達の心身のケアに役に立つのではないかと

そしてあきらめずに信じる心を持ってもらいたい！！

そのように共鳴し、この歌にダンスを付け、ぽっかりあいた心の隙間を埋められるのではないかと

そのように考え振付を作ってみました。

運動する気持ちにはまだまだなれない方もいるのが実情だと思いますが、今だからこそ子供達に沢山の夢を持ってもらいたい！

そして身体を沢山動かして健康維持を兼ねた先に進む心身のケアにダンス、体操が何か役に立てればと思いこの「タピラス体操」を作成しました。

起きてしまった事は悲しい事だけど仕方が無い。後ろを見ずに前を見て進んでいきましょう！！

そんな先導者が各地の子供達であって欲しいと僕は考えています。

決して忘れてはいけない事だけど心に留めて皆で踊って、なりたい自分になれるように。

そんな思いを込めて皆さんに踊って頂ければと思います。

◎ 「“ともいき” 便り」 No4の『ぼくの木と「小満」』に、感想が寄せられましたのでご紹介します。

① 「“ともいき” 便り」、読ませていただきました。

とてもチャーミングなお便りですね。

小満のことも興味深く読ませていただきました。

私は「私の木」と呼べるものはまだないですが、カメラを持ち歩いているので気になる木の写真はどんどん増えてます。

写真を撮ると、そよそよと葉っぱをゆらして迎えてくれたり、つんと立ったままこちらを見下ろしてくれたり、言葉のない挨拶をしているような気分になります。

<Sさん : コピーライター : 女性>

② 私のマンションの専用庭には花ミズキの木が一本。

ゆり、水仙、などの球根ものも毎年顔を覗かせてくれます。

ハーブはレモンバーム、ミント、スイートバジル、ラベンダー、パセリ、シソ、三つ葉。

花も今はインパチェンスが綺麗です。

フェンス沿いに植えたテイカカズラが満開を迎えています。

庭の隅のドクダミも、はっとするほど美しい花を咲かせています。

お茶の時間には庭のレモンバームティー。とても美味しいですよ！！

ですから、ベランダの植物のお話は嬉しかったです。

そしてなにより、「ぼくの木」をお持ちのことに驚きました。

と言いますのは、実家の庭に60年近く前に植えたけやきの木がありました。

少女の私はその木と友達でした（木の気持が不思議と分かったのです）。

大人になって、実家を離れ、また帰ってきた時、ケヤキの木は

私を覚えていました。

その木は数年前の夜中に倒れてしまいました。
父は何かを感じたと思います。
それからすぐに妹が亡くなりましたから。
そして、翌年には父自身が・・・。

倒れる数年前から、その木は悲しんでいました。
とても弱っていました。
多分風通しが良くなかったのです。
そんな状態を見るたびに私は言いようのない気持ちになり、
励ましていました。

すっかり変わった実家の庭。今は姉夫婦が棲んでいます。

<Mさん 詩人：女性 2012.05.25>

- ③ <“ともいき”便り>、季節の風をお送りくださり、ありがとうございます。
私の家の庭も、木々や野草の緑が低い生垣から溢れ出ている感じで、前の道
を通る人たちが、風にそよぐさまざまな緑色に、微笑みながら見入っている
のを、最近よく見かけます。

その緑を見るために、通勤路を変えましたという方も、結構おられます。

パソコンも1時間作業した後に、5分間緑の植物や森を見るだけで
目の疲労がとれるそうです。

緑の力は、本当にすごいと思います。

<Sさん 男性 2012.05.29>

- ◎ NPO PTPL 理事のすとうあさえさんの新しい絵本が出版されました。
すとうあさえさんからのメッセージです。
遊歩道のビワの木に緑色の実が目立つようになりました。
この度、物語「タネオがきた」を文研出版さんから出版させていただきました。

私に関わっている NPO PTPL の活動で出会った子どもたちや大人たちから得たエピソード、私自身の体験から生まれた物語です。

舞台は、NPO の事務所があった麻布十番界隈。熊本に秋の山で子どもたちとクヌギを拾い、冷蔵庫に保存して春にまいて苗木を育てる活動をしている方がいます。そこで、主人公タミオの故郷は熊本にしました。またオオマンモスが作る「たたみ一畳農園」は JR 目黒の駅ビル「アトレ」の屋上にあり、地域の親子農夫さんたちが農作業を楽しんでいます。NPO が提案し 2004 年から続けています。

私はいつも思っています。

子どもたちには、泥や草花で遊び、虫をつかまえたり、月をみあげたりして、自然を五感で感じてほしいと。そして自然の不思議に気づき、自分も自然の一部であることに気づいてほしいと。

タミオを通して、そんな気持ちが子どもたちに少しでも伝わればうれしいです。

<すとうあさえ 2012年6月吉日>

- ◎ “ともいき” 便りは、基本的に郵送しておりますが、お知り合いの方にメールなどで配信ご希望の方は、事務局までお知らせください。テキストデータでお送りします。
- ◎ 皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp